



南信州の豊かな環境を守り育てるネットワーク

南信州環境ネット

minamishinsyuu

第27号

2017年(平成29年)

9/28 発行

編集・発行/南信州環境ネット企画編集委員会

〒395-0034 長野県飯田市追手町 2-678

南信州地域振興局環境課内

TEL 0265 (53) 0434 FAX 0265 (53) 0467

E-mail minamichi-kankyo@pref.nagano.lg.jp

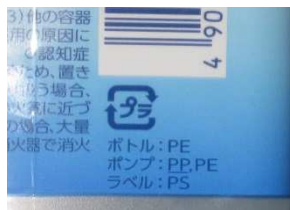
■ 稲葉クリーンセンターが稼働開始！



南信州広域連合が建設を進めていた、飯田市及び下伊那郡(根羽村を除く。)の一般廃棄物を受け入れる新しい焼却施設「稲葉クリーンセンター」が、9月1日(金)から試運転としてごみの焼却を始めました。

この施設では、焼却熱を利用して水を沸かし、蒸気を利用した発電(700万kWh/年=概ね2,100世帯/年の使用量)を行い、その電力で焼却施設を動かすほか、余剰電力は売電することとなっています。

市町村の広報誌等では、「プラスチックが燃やせる」旨のお知らせをよく目にします。しかし、稲葉クリーンセンターで受け入れるプラスチック類は「プラマークがないもの」



「プラマークがあっても、汚れが落ちないなどリサイクルに適さないもの」に限られます。

プラマークのあるプラスチックは、今までどおり「資源ごみ(プラマーク)」や、「プラスチック製容器包装」等の標記のある指定袋により、リサイクル資源として分別して排出します(写真は手指消毒用アルコールの容器です。表記を確認すると、ボトルとポンプとラベルが全てプラマーク。容器包装プラスチックの袋に入れて排出することになります。)

活動の際機会があれば、各市町村発行の分別ガイドに従って住民の方に情報提供をお願いします。

■ 竹宵まつり 今年も盛況でした

「でんきを消してスローな夜を」をスローガンに、地球のことやエネルギーのことに考えるきっかけとしてもらうことを目的に、「竹宵まつり 百万人のキャンドルナイトin南信州」が6月3日(土)に開催されました。



竹林整備で生じた竹を熱源とした足湯や、地元産の食材にこだわって輸送エネルギーを削減した「フードマイレージゼロ市」など、多彩な企画を通じてエネルギーや環境について考えるきっかけになったのではないかと思います。

南信州地域の地方行政機関と消費者団体等で構成する豊かな環境づくり飯伊地域会議では、親子環境体験学習会2017として廃食用油キャンドル作りとエコクイズを実施し、エコクイズに全問正解したみなさんにアルクマのエコバッグをプレゼントしました。

小さな時期から環境問題にも触れて、エコな行動習慣が身についた大人に育ててもらえれば、将来の環境はもっとよくなっていくと思います。



■ 環境関係推進員の委嘱状況



平成29年度は、不法投棄監視連絡員15名（任期1年）、地球温暖化防止活動推進員9名（任期2年）、希少野生動物保護監視員（脊椎動物対象）2名（任期3年）の各環境関係推進員が委嘱されました。

不法投棄監視連絡員の皆さんには、毎月8時間を目安に、担当地域のパトロールをしていただいています。幸いなことに大きな不法投棄事案は発生していませんが、地域の生活環境を美しく保つためには今後も不法投棄を許さない活動が重要です。

監視連絡員でない皆さまも、万が一不法投棄等を見かけたら、市町村役場や南信州地域振興局環境課まで通報してください。

地球温暖化防止活動推進員の数が年々減少していることもあり、推進員の方からは、省エネや温暖化対策に関する興味関心が薄れてきているのではないかと、現状を憂いているお話もありました。

気候変動をはじめ、地球温暖化によるといわれる様々な影響が現実化している中で、人間本位の考え方では、私たちの生活を持続していくことが難しいだろうという懸念が現実のものとなってきました。地球環境とよりよい共存関係を作り、人間の生活も豊かになるよう、一人ひとりが考えていく必要があると感じています。

希少野生動物保護監視員の皆さんは、ご専門の動物について、保護活動のほか、生態の研究等を行っていただいています。

毎年いただく報告書は、県のレッドリストの改訂の際に欠かせない資料となっており、県の希少野生動物施策の重要な役割を担っていただいています。また、植物相、動物相の変化からは、地球温暖化の影響も把握することが可能です。

他の推進員の方と話がしてみたいなどのご要望があれば、南信州地域振興局環境課までご連絡ください。

なお、本年度で、自然保護レンジャー、希少野生動物保護監視員（無脊椎動物対象）の任期が満了し、次期の募集が行われる予定です。県庁自然保護課から県ウェブサイト等にて情報提供がありますので、応募についてご検討ください。

■ 新しい環境基本計画を作っています

長野県では、平成30年度から始まる新しい環境基本計画の策定を進めています。

策定にあたって、多くの県民の皆様の意見を反映するため、県内各地で県民の皆様との意見交換を行っています。

当地域では、天竜川鷲流峡復活プロジェクト（5月10日）、飯田OIDE長姫高校生徒会（5月30日）、南信州レジ袋削減推進協議会（7月5日）の皆さんと、中島副知事や県環境部職員とのミーティングを行い、10年後、20年後の長野県を見据え、環境保全意識の向上や再生可能エネルギーの活用を進めるべきなど、貴重なご意見をいただきました。

■ お知らせ

○ 紙面の構成を変えました

本紙は現在、紙資源の削減等の観点から主に電子メールにて配信しています。電子媒体では、縦書きより横書きの方が読みやすいと思いますので、本号は試験的に横書き2段組みの紙面構成としました。ご意見があればお寄せください。

○ 投稿をお待ちしています

元来、環境関係推進員の皆様からの投稿をもとに、編集委員会にて編集して発行し、年4回を目標にておりました本紙ですが、投稿の減少に伴い、行政からのお知らせが中心となり、発行回数も年2回程度となっています。

現場における生の声を掲載できますと、より臨場感と読み応えがあり、お互いの活動の参考となる紙面をお届けできることと思います。

ぜひ、環境関係推進員の皆様の情報の交換にご活用いただき、活発なご投稿（概ね800字程度まで、可能な限り写真（公開しても法的に問題のないもの）を添付）をお願いします。